



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

扱	平成25年 8月 1日
い	14時以降 解禁

平成25年8月1日(木)

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

記者発表資料

東京湾の環境改善に民間企業の力を活用 -横浜港においてアマモ場の再生に取り組む企業を募集します-

今般、横浜港において、人工干潟にアマモの種子をまき、アマモ場を再生する取り組みのため、港湾区域の一部を市民等に開放することと致しました。開放する区域は、横浜ベイサイドマリーナに隣接する公共水域です。

これは、日本初の試みで、東京湾の再生のため官民連携を柱にした「東京湾再生行動計画(第二期)」の施策のひとつであり、企業、NPO、市民等の協働による積極的な取り組みと海域環境の改善に大きな期待ができます。

開放にあたっては、NPOや市民等の多様な主体と協働し、アマモ場の再生による環境改善に関して創意工夫あふれるアイデアを持ち、自らも積極的に取り組んで頂ける企業を、具体的な提案とともに募集致します。

その中から優れた提案を選定し、協働するNPOや市民等とともに、開放された公共水域にて、環境改善活動に取り組んで頂きます。

このような活動を通じ、私たち一人一人が海への理解や関心(愛)を高め、多くの人に広まることを願い、本プロジェクトを「東京湾・海(Umi)をみんな(Min-na)で愛(I)するプロジェクト」=愛称「UMIプロ」と称しています。

今回の募集は、このUMIプロの第一歩です。

<募集の概要>

- 主催・後援 主催：東京湾再生推進会議海域対策分科会
後援：横浜市港湾局
- 開放区域 横浜市金沢区白帆 人工干潟(約200m×約100m) (別紙位置図参照)
- 開放期間 平成25年10月～26年3月末まで
- 応募要件 ①ルールを守り、熱意を持って取り組めること。
②NPOや一般市民等、多様な者と協働で実施する体制であること。
③実施から安全管理まで、応募者の責任のもとに実施できること。
④活動終了後、積極的な活動報告ができること。
⑤活動に係る費用を民間企業が負担できること。

○応募期間 平成25年8月5日(月)～8月30日(金)

*募集要項のダウンロード及び詳細については、関東地方整備局港湾空港部HPまたは横浜市港湾局HPをご覧ください

関東地方整備局港湾空港部 : <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/>

横浜市港湾局 : <http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/basicinfo/green/>

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、 神奈川建設記者会、 横浜海事記者クラブ

〈問い合わせ先〉

●募集要項及び本件に関する詳しい内容

関東地方整備局 港湾空港部 松坂、松森

(TEL : 045-211-7404 内線 : 5905、5838)

●東京湾再生行動計画に関する内容

国土交通省港湾局海洋・環境課 戸谷、清水

(TEL : 03-5253-8685 内線 46673、46654)

●現場施設に関する内容

横浜市港湾局企画調整課 岡、中島

(TEL : 045-671-2881)

「東京湾・海(Umi)をみんな(Min-na)で愛(I)するプロジェクト(愛称:UMIプロ)」の概要

■目的

東京湾の豊かさを取り戻すためには、森に木を植えるように、海に「生き物のゆりかご」といわれるアマモ場を東京湾で再生させ、生物多様性を確保するとともに、その活動を通して、私たち一人一人が海への理解や関心を高めることが重要です。

そこで、今般、東京湾の公共水域を一定期間開放し、NPOや一般市民等と協働で、アマモ場再生に取り組む企業を公募します。

《UMIプロのイメージ》

企業等による
アマモの育成
(企業・NPO等)

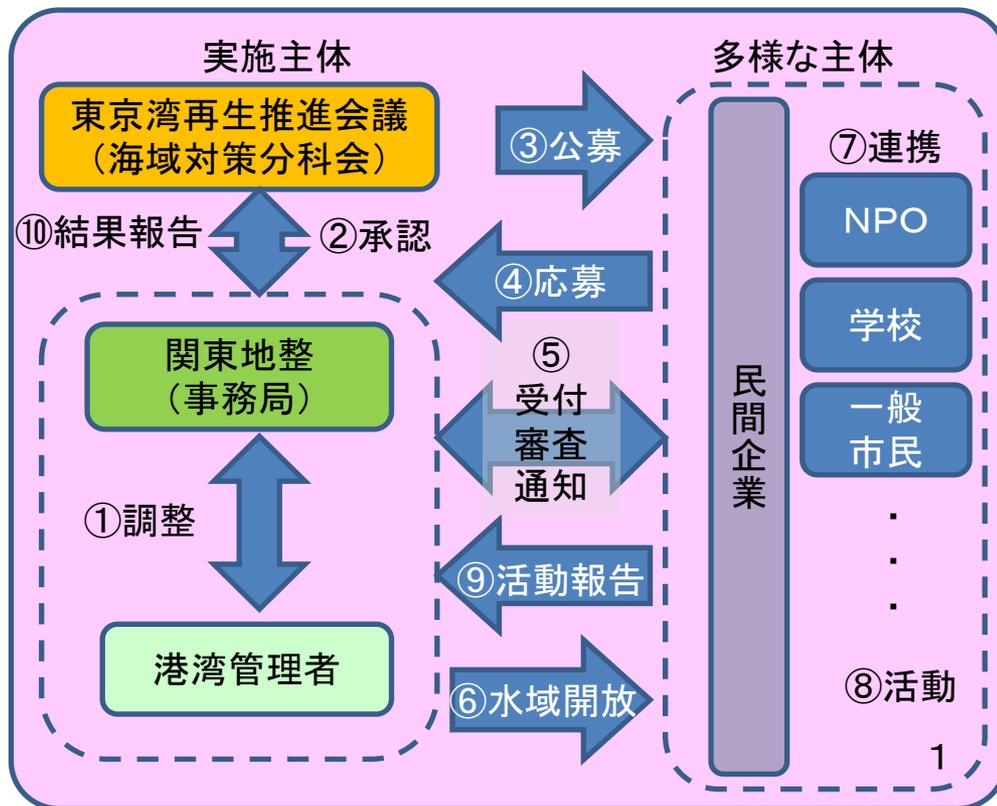
水域の開放
(港湾管理者)

実施イメージ



公募エリア

《UMIプロの基本的な枠組》



■当面のUMIプロジェクト

1) 概要

横浜港金沢地区白帆にある人工浅場を活用し、企業等によるアマモ育成活動を促進。

2) 実施場所



人工浅場

横浜ベイサイドマリーナ

